第 11 回滋賀県多職種連携学会研究大会　プログラム

日時：令和 8 年 12 月 6 日(日)　10:00～16:00

場所：G-NETしが　男女共同参画センター(近江八幡市鷹飼町 80-4)

	会場：大ホール	
9:30	受付開始	
10:00	開会式 開会のあいさつ	
10:10	**演題発表 セッション1 「地域」**	**演題発表 セッション2 「医療・介護」**
11:50	休憩　60分	
12:50	**企画演題 多職種によるシンポジウム 「安心できる居場所づくりやつながりをつくるには」**	
14:10		
	休憩　10分	
14:20	**基調講演(県民公開講座) 「ウェルビーイングと多職種協働」 武蔵野大学ウェルビーイング学部 学部長　前野　隆司氏**	
15:50		
16:00	閉会式 学会長授与、閉会のあいさつ	

10:10 演題発表セッション1 「地域」

座長：大井　美夏子（滋賀県社会福祉士会）　北川　弘（滋賀県児童成人福祉施設協議会）

1. 子ども食堂ネットワークが拓く地域福祉の可能性
ー官民共創の推進と多職種連携の実践ー

日野町福祉保健課　社会福祉士　鎌田　宗純

2.「I WILL HELP U プロジェクト」助け合いの見える化による多職種連携と地域共生

チームエンパワーメント/こむぎ訪問看護ステーション　作業療法士　田中　孝史

3.「優しさ」の文化を作る
ーインクルーシブシネマ ×イベント「WE WILL HELP U」ー

チームエンパワーメント/公益財団法人青樹会　滋賀八幡病院　作業療法士　青野　豪

4.「社会的処方」を基盤とした若者支援モデル
ー制度の狭間を超克する新たなしくみー

一般社団法人　しがの未来創生センターー　社会福祉士　上村　文子

5. 対話鑑賞における失語症のリハビリの可能性を考える
ーST と美術館学芸員の連携による新しい価値の創造ー

滋賀県立むれやま荘　言語聴覚士　佐野　有加里

6. リハビリテーション関連3職種の連携について
ー滋賀県リハビリテーション推進団体協議会の経緯と今後ー

公益社団法人　滋賀県理学療法士会　理学療法士　平岩　康之

7. 子ども食堂を起点とした地域活動の可能性
ー子どもと地域をつなぐ「かけはし」としてー

一般社団法人　ふれあいハウスとよくに　作業療法士　中村　佳子

10:10 演題発表セッション2 「医療・介護」

座長　早川　ひと美氏（滋賀県看護協会）　米原　次巳氏（滋賀県介護支援専門員連絡協議会）

1. 医療と介護の「スキマ」を埋める3者連携
ー自費リハビリ事業所の実践報告ー

合同会社 ill cha ill CHAlleNGE　理学療法士　松浦　陵平

2. 綿くりから始まるリハビリテーション
ー地域資源を活用した巧緻動作能力向上への取り組みー
デイサービスリハセンターかけはし　作業療法士　中村　佳子

3. 情報共有プラットフォーム「LYNXS」を用いた多職種連携の試み
―現場での活用成果と運用課題―
特定非営利活動法人ゆうらいふ　介護支援専門員　津田　征志

4. 高齢者の服薬支援における薬剤師と作業療法士の連携ニーズ
合同会社 Well-being Base　デイサービス　ベーススタジオ栗東　作業療法士　西村　彰規

5.　意見交換会を活用して業務改善の実現
特別養護老人ホーム　真盛園　施設長　川橋　忠之

6. 多職種連携による環境調整が自己効力感の向上や ADL 向上へと繋がった一例
滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部　作業療法士　田丸　結香

7. 多発性骨髄腫に合併したミオパチーにより経口摂取に難渋した症例に対する多職種連携と目標再設定について
滋賀医科大学医学部附属病院　リハビリテーション部　言語聴覚士　髙山　圭

8. インシデントを契機とした院内感染管理室との多職種連携
ーリハビリテーション職種の意識・行動変容および多職種連携の深まりー
市立野洲病院　医療技術部　リハビリテーション課　理学療法士　東村　奈緒美

12:50 企画演題

座長　特別養護老人ホームカーサ月の輪　施設長　日比 晴久

「安心できる居場所づくりやつながりをつくるには」

NPO 法人あめんど　代表　恒松 睦美
社会福祉法人真寿会 リハビリセンターあゆみ 理学療法士　冨田 恭輔
チームエンパワーメント 代表　作業療法士　田中 孝史
日野町保健福祉課 社会福祉士　鎌田 宗純

14:20 基調講演（県民公開講座）

座長　一般社団法人滋賀県医師会　会長　髙橋　健太郎

「ウェルビーイングと多職種協働」

武蔵野大学　ウェルビーイング学部長/慶應義塾大学名誉教授　前野　隆司